



2022年8月3日

各位

会社名 ヤマハ株式会社
代表者名 代表執行役社長 中田 卓也
(コード番号7951 東証プライム)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長 杉山 啓子
(TEL 053-460-2210)

2023年3月期 第1四半期業績の概要と通期業績予想について[IFRS]

□ 第1四半期業績の概要 — 増収・減益 —

2023年3月期 第1四半期の売上収益は、中国・上海のロックダウンや半導体調達難などの影響を受けたものの、対USドルの為替レートが大幅な円安になったことから、前年同期に対し34億円(3.3%)増加の1,059億円となりました。事業利益は、実質減収の中、為替影響も限定的であったことから、前年同期に対し24億円(18.0%)減少の110億円となりました。また、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期は固定資産売却益を47億円計上したこともあり、48億円(35.9%)減少の86億円となりました。

<事業セグメント別の売上収益・損益の状況>

●楽器事業

売上収益 734億円(前年同期比 7.0%増) 事業利益 96億円(前年同期比 8.0%減)

アコースティックピアノと電子楽器は上海のロックダウンの影響などにより、中国での販売が減少し、全体でも減収となりました。ギターは中国で二桁成長したほか、北米でも販売を伸ばしましたが減収となりました。管弦打楽器は北米での販売が大幅に回復したことなどから増収となりました。

セグメント全体の売上収益は、前年同期に対し48億円の増収となりました。事業利益は、8億円の減益となりました。

●音響機器事業

売上収益 228億円(前年同期比 7.0%減) 事業損失 4億円(前年同期は13億円の利益)

オーディオ機器と業務用音響機器は、半導体調達難による商品供給不足などにより減収となりました。ICT機器は、前年の国内の会議システム需要増の反動で減収となりました。

セグメント全体の売上収益は、前年同期に対し17億円の減収となりました。事業利益は、17億円の減益となりました。

●部品・装置、その他の事業

売上収益 98億円(前年同期比 3.6%増) 事業利益 18億円(前年同期比 9.0%増)

電子デバイス、自動車用内装部品、FA機器は、いずれも減収となりました。ゴルフ用品は、増収となりました。

セグメント全体の売上収益は、前年同期に対し3億円の増収となりました。事業利益は、1億円の増益となりました。

□ 2023年3月期 通期業績予想 — 対USドルの為替見直し等により増収、利益は据え置き —

半導体調達難などによる商品供給不足の継続に加え、上海ロックダウンの長期化などの影響があるものの、対USドルの為替レート見直し等により売上収益は上方修正いたします。一方、為替影響が限定的であることから利益は据え置きます。

このようなことから、2023年3月期の通期業績予想は、5月11日に公表した売上収益4,400億円（前期比7.8%増）を、4,600億円（前期比12.7%増）に修正し、事業利益500億円（前期比16.2%増）および親会社の所有者に帰属する当期利益375億円（前期比0.7%増）は据え置きます。

*本予想における第2四半期以降の想定為替レートは、対USドル125円、対ユーロ135円です。

注1) 事業利益とは、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除して算出した日本基準の営業利益に相当するものです。

注2) 文章中の売上収益、損益の数値は、原則として億円未満四捨五入で記載しております。

以上

(1) 主要財務指標

	前期第1四半期実績 (‘21/4月-6月)	第1四半期実績 (‘22/4月-6月)	前期実績	当期予想	前回当期予想 (‘22/5/11発表)
	22年3月期	23年3月期	22年3月期	23年3月期	23年3月期
売上収益	1,025億円	1,059億円	4,082億円	4,600億円	4,400億円
うち国内	288億円 (28.1%)	254億円 (24.0%)	1,054億円 (25.8%)	1,081億円 (23.5%)	1,081億円 (24.6%)
うち海外	737億円 (71.9%)	805億円 (76.0%)	3,028億円 (74.2%)	3,519億円 (76.5%)	3,319億円 (75.4%)
事業利益 ^(*)	134億円 (13.1%)	110億円 (10.4%)	430億円 (10.5%)	500億円 (10.9%)	500億円 (11.4%)
営業利益	183億円 (17.9%)	111億円 (10.5%)	493億円 (12.1%)	500億円 (10.9%)	500億円 (11.4%)
税引前利益	187億円 (18.2%)	126億円 (11.9%)	530億円 (13.0%)	520億円 (11.3%)	520億円 (11.8%)
当期利益 ^(**)	134億円 (13.1%)	86億円 (8.1%)	373億円 (9.1%)	375億円 (8.2%)	375億円 (8.5%)
為替レート(決済レート) ^(***)	110円/US\$ 127円/EUR	127円/US\$ 130円/EUR	112円/US\$ 131円/EUR	125円/US\$ 134円/EUR	115円/US\$ 130円/EUR
ROE ^(***)	13.2%	8.1%	9.2%	8.7%	8.8%
ROIC ^(***,*)	9.3%	7.0%	7.3%	8.2%	8.3%
ROA ^(***)	9.5%	5.9%	6.5%	6.3%	6.4%
1株当たり利益	76.3円	50.1円	214.8円	218.6円	218.6円
設備投資額 (減価償却費)	23億円 (29億円)	23億円 (32億円)	148億円 (121億円)	256億円 (132億円)	256億円 (132億円)
研究開発費	60億円	59億円	240億円	255億円	255億円
(キャッシュフロー)					
営業活動	127億円	△162億円	360億円	310億円	310億円
投資活動	52億円	△19億円	437億円	△210億円	△210億円
フリーキャッシュフロー	179億円	△182億円	797億円	100億円	100億円
期末在庫高	974億円	1,367億円	1,186億円	1,310億円	1,250億円
(要員数)					
国内	5,745人	5,740人	5,615人	5,700人	5,700人
海外	14,399人	14,305人	14,280人	14,800人	14,900人
正社員計 ^(***)	20,144人	20,045人	19,895人	20,500人	20,600人
正社員外要員(期中平均)	9,091人	8,780人	8,863人	8,600人	8,300人
(事業別売上収益)					
楽器	686億円 (66.9%)	734億円 (69.3%)	2,762億円 (67.7%)	3,150億円 (68.5%)	3,020億円 (68.7%)
音響機器	245億円 (23.9%)	228億円 (21.5%)	969億円 (23.7%)	1,050億円 (22.8%)	1,000億円 (22.7%)
その他	94億円 (9.2%)	98億円 (9.2%)	351億円 (8.6%)	400億円 (8.7%)	380億円 (8.6%)
(事業別事業利益 ^(***))					
楽器	104億円	96億円	373億円	430億円	430億円
音響機器	13億円	△4億円	15億円	30億円	30億円
その他	17億円	18億円	42億円	40億円	40億円

(2) 売上収益の内訳(事業別、地域別)

23年3月期 第1四半期累計実績 (‘22/4月-6月)	楽器		音響機器		その他		合計	
	売上収益	前期比 ^(***)	売上収益	前期比 ^(***)	売上収益	前期比 ^(***)	売上収益	前期比 ^(***)
日本	156億円	93%	60億円	87%	38億円	73%	254億円	88%
北米	200億円	127%	56億円	93%	19億円	104%	275億円	117%
欧州	128億円	97%	59億円	82%	1億円	43%	187億円	91%
中国	113億円	67%	13億円	55% (55%)	8億円	90%	134億円	67%
その他	138億円	105%	40億円	96%	32億円	168%	209億円	109%
合計	734億円	97%	228億円	86% (86%)	98億円	96%	1,059億円	94%

*1 事業利益とは、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除して算出した日本基準の営業利益に相当するものです。

*2 当期利益=親会社の所有者に帰属する当期(四半期)利益

*3 為替レートは、利益に影響を及ぼすヤマハの輸出入決済レートを記載しています。2Q以降為替レート US\$=125円、EUR=135円

*4, 5, 7 ROE・ROIC・ROAは年換算値

*6 ROIC=税引後事業利益÷(親会社の所有者に帰属する株主資本+有利子負債)

*8 要員数=期末社員在籍数

*9 前期比は為替を除いた実質ベースでの比較、()内はOEM向けを除いた前期比増減を表しています。

連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の連結業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。